



内閣府（防災担当）

# 南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討 ワーキンググループ（第2回） 議事要旨

## 1. 日 時

平成30年6月11日（月）15:00～17:00

## 2. 出席者

福和主査、岩田委員、大林委員、加藤委員、清野委員、鍬田委員、阪本委員、田中委員、  
中埜委員、野口委員、橋爪委員、矢守委員、青木委員、栗原委員、尾崎委員、  
川勝（代理：杉保）委員

小此木 防災担当大臣、前川 内閣府審議官 他

## 3. 議 題

- (1) モデル地区における検討状況
- (2) 自治体アンケートの結果
- (3) 異常な現象が観測された際の避難について

## 4. 議事要旨

- 各委員から以下をはじめとする幅広いご意見をいただいた。
  - ・ 南海トラフ地震情報は、不確実な情報だから対応しないという考え方は危機管理になじまない、減災ポテンシャルをもった、大いに利用できる情報である。
  - ・ 住民の意見が多いからではなく、ある一定のものさしをもって、避難行動はどうあるべきかを検討すべき。それをガイドラインで示して欲しい。
  - ・ 避難所の運営方法や長期化する避難生活への対応を検討する必要がある。
  - ・ 津波避難の議論に寄りがちなので、津波以外の議論も深めるべき。

以 上